

# 浄化槽方式の併用で 市内全域水洗化を

## 浄化槽方式は建設費が5分の1、維持費も6割に

### 農村部一地区で市当局が試算

日本共産党は、現在の公共下水道中心のやり方では市と住民の財政負担が膨大になるため計画を見直し、散居村では市が各戸に合併処理浄化槽（トイレだけでなく生活雑排水を併せて浄化する）を設置し維持管理する方式を取り入れるように求めています。

### 部長答弁 「見直しを進め

市当局は6月議会で、どちらが効率的か、市内の1農村地区をモデルに試算し、初めて具体的な数字を発表しました（モデル地区は372世帯1544人）。建設費の比較では、公共下水道方式は完成まで10年間かけて30億8330万円ですが、浄化槽方式では5年間で5億5800万円ですみます。

### 45年間の維持管理費比較でも

### 浄化槽に軍配

維持管理費（借金の元金利息返済額と維持管理費用の合計）の試算でも、45年間の合計で、公共下水道方式では24億6850万円ですが、浄化槽方式では14億1340万円ですみます。砂田市議の質問に、市



「値下げを求める会」結成総会で報告する砂田市議 = 4月28日、高岡市本丸会館

# 明るい小矢部

No. 151  
2005年7・8月号

発行  
日本共産党  
小矢部市委員会

小矢部市七社 245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
4842-67-

## 6月市議会報告

## 学童保育

### 希望者全員受け入れ 定員増を

児童居留守の学童保育に、施設の拡充による定数増を求めた砂田市議の質問に、当局は「学童保育の希望者は年々増えており、今後も増える」と予想される。しかし、各学校では1クラスをグループ分けした授業に余裕教室を使っており、現状の余裕教室を活用した学童保育は限界である。4年生以上の継続児の受け入れについては、他市のような社会福祉協議会への委託や地域が運営する方法も研究したい」と答えました。

### 石動小学校、大谷小学校で定員オーバー

小矢部市は現在110名の定員に129人の希望者全員を受け入れています。このうち4年生以上の継続児は13人です。定員オーバーしているのは石動小学校と大谷小学校です。

### 当局は公民館、空き家の活用も検討中

当局は、希望者の多い地区の児童を公民館などで受け入れて学童保育をできないか、あるいは空き家の活用ができないか検討中です。希望者の受け入れを決して後退させないとのことでした。

### 「学童保育で友達ができ、明るくなった」

ある地区で、近所に友達がいなかった児童が、学童保育にいくようになって、大変明るくなったといううれしい話も聞きます。

### 子育て支援に財政支出を惜むな

市としては、今後いろんなやり方を研究することは必要でしょうが、子育て支援に必要な財政支出を惜しんで、児童や父母の希望を裏切るようなことがあってはなりません。

## 水道料値下げへ 署名運動スタート

高い水道料の値下げを求めて、3市1町（小矢部市、高岡市、氷見市、福岡町）の市民団体が共同で進める署名運動がスタートしました。

署名を呼びかけるチラシを見て、「同じ富山県なのに、小矢部市の水道料は富山市の2倍もするのですか」と驚きの声も寄せられています。

金沢から越してきた方は、小矢部市の1カ月の請求を見て、はじめは2カ月分だと思っただと語っています。

「下水道使用料と併せ」

が初めて、水道料の値下げを」と質問しました。県企業局から購入している子撫川ダムの水道水の単価、引受量の引き下げ交渉も本格化します。2004年度水道事業会計は、小矢部市でも高岡市でも赤字の見通しです。

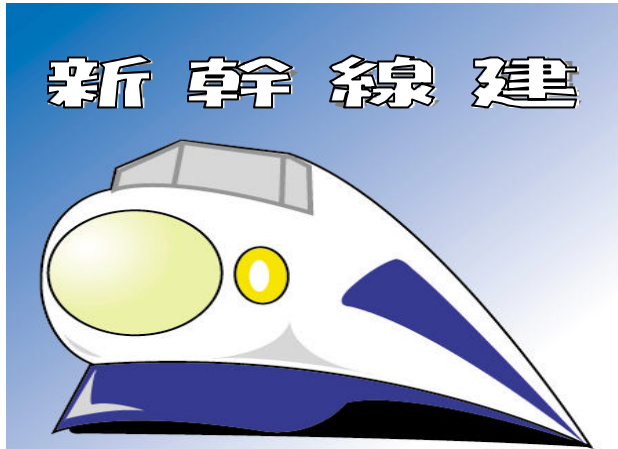
値下げ署名を上げ、水道料金値下げを実現させましょう。

### 自民党所属市議会も 議会ですべて「引き下げ」を要求

## ひろば

つい最近、小林多喜二を描いた早春の賦の舞台を観た。多喜二は蟹工船「不在地主」など戦前の日本で労働者や小作人の立場に立つた小説を書いて、29歳の若さで特高警察に虐殺された。時代は満州事変から中国全土へと、天皇制政府が侵略戦争を拡大し、国内では反動化の嵐が吹き荒れていた。多喜二はその流れに倅さし、反戦平和のためにたたかっていた共産党そのもの作品にした。「1928年3月15日「工場細胞」オルグ」等々。その作品は没後70年を経ても広く読まれている。強大な相手に、体を張ってたたかう作家の生き様に、今日に通ずるものを見た。自民・公明と民主が「憲法改悪」を競い合うなか、平和憲法を守れ、「庶民の暮らしを守れ」の確かな声と運動がわき起こっているが、大手マスコミからは見えない。しかし、小泉首相の靖国参拝への批判は国内外で高まってきた。中国、韓国はもとより、アメリカで「ニューヨークタイムズ」の「S.A.T.デー」、フランスで「レモンド」が、靖国神社は日本の戦争責任を免罪する「戦争神社」と大きく報道するようになった。その転機になったのが、5月に共産党本部で開かれた時局講演会での不破講演ではないだろうか。外国大使館や外国のマスコミも多数参加し、その内容は、パンフにして全国会議員や県知事などに贈られ、英訳が各国大使館に届けられた。私たちが、靖国問題を特集した「赤旗号外」を一軒一軒に届けている。一人の行動、一人の声は小さくても、道理ある訴えがいずれは世界を動かすと信じる。多喜二の思いもここにあった。

# 騒音対策や残地補償で、住民の意見 要望を十分に反映せよ



北陸新幹線が富山金沢間もフル規格で建設されることになり、小矢部市内でも関係自治会で地元説明会が開かれています。

今後町内ごとにどんな要望が出されたか、住民の間でもお互いに情報を交換し、騒音・振動対策や、残地補償、地震対策で後悔しないようにしていかなければなりません。

## 在来線や 地元負担への懸念

一方、新幹線建設に伴う在来線の経営問題や地元負担の問題が市民の間で懸念を呼んでいます。

新幹線建設に伴う「小矢部市への地元負担はない」と、当局は6月議会で断言しました。

しかし在来線がどうなるのか、関西方面への特急電車の運行はどうなるのか、第三セクター鉄道に対する財政負担はどうなるのかなど、懸念が広がっています。

日本共産党は新幹線建設にあたって「地元負担なしで」「在来線もJRが責任を持って運行を」と求めてきました。その立場から、これらの市民の声を大切に、生かされるように頑張っていきたいです。

## 石動駅に

## エレベーター設置を

6月議会でする在来線石動駅のホームにエレベーターの設置を求めた砂田市議の質問に、当局は、交通バリアフリー法で国の認可基準は一

日5000人の乗降客であり、石動駅は3500人で現状では難しいが、高齢化が進展している中で、市としても必要と認識しているとので、今後石動駅と協議したい」と答えました。



## 知事の退職金

## 「市民オンブズ小矢部」が住民監査請求

中沖前知事の退職金が2億3500万円、富山市長の退職金も3年2カ月で約3千万円でした。庶民感覚からは考えられないような高額の特別職退職金の問題になっています。

「市民オンブズ小矢部（美谷克己代表）」は6月27日、中沖前知事への退職金支払いは1億9014万2500円も払いすぎだとして、返還を求める監査請求をします。



職員の給与の額や支払い方法は、条例で決めると地方自治法にあるにもかかわらず、富山県は特別職について全国で唯一、明文化していませんでした。富山県退職手当条例の規定からい

えば、県職員と同じ計算方法で退職金を支払うべきであり、その額は4485万9750円です。

県議会はようやく6月議会において知事の退職金額を条例に明文化しましたが、これはこれまでの支出が違法であることを

「小矢部で日本国憲法を読む会」（連絡先：美谷克己さん、久利須）は、3月16日の入門講座「憲法とは何だろう」を皮切りに、毎月第2水曜日に集まっています。

会では、文字通り日本国憲法の条文を高らかに読み上げます。つづいて参加者は、その条文について自由に意見を述べ合い、それぞれ条文理解を深めます。発言に必要な資料は、各自用意して、参加者に配ることが出来ます。

第2回は前文と第9条まで、第3回と第4回は第10条から40条の基本的な人権全部を予



## 「小矢部で日本国憲法を読む会」 着実に進行

定していましたが、活発な発言が続ぎ、ようやく第30条まで読み進めました。毎回約20名の参加ですが、これまで50名以上の人が参加されました。

この間、参加者が用意された資料は、北陸中日新聞の特集、逐条点検日本国憲法、大日本帝国憲法、ポツダム宣言、国立国会図書館資料、日本国憲法の誕生：3基本的人権の保障、治安維持法、教育基本法、女子差別撤廃条約、など、多岐にわたっています。

次回第5回は7月13日（水）、最終の第6回は8月10日（水）、いずれも午後7時より石動コミュニティセンター会議室で、初めての参加も歓迎のことです。

事実上認めたとようなものです。

## 知事には

## 一般公務員の数倍の退職金

特別職の退職金は公務員の退職金に比べても法外に多いのです。

公務員の退職金には賃金の一部後払いという性格もあり、報酬月額に勤続年数をかけて退職金額を算出するのに、特別職の場合、報酬月額に在職した月数を掛けるのです。これでは報酬の二重払いではありませんか。

本来特別職に退職金が必要なのか、仮に必要だとすると、一般公務員並みに抑えるべきではありませんか。

## 特別職の退職金を全廃した高石市(仮)

大阪府高石市は、03年9月に特別職の退職金を全廃しました。

「市民オンブズ小矢部」では、「退職金、多すぎっちゃ」とお思いの方に、郵送でもできる住民監査請求を呼びかけています。（問い合わせ先 美谷克己さん 電話681-2813）